



画像提供:三菱鉛筆株式会社

ません。習氏は、先の大戦について日本政府が踏み込んだ評価を下した「村山談話」に関し、日本の侵略の歴史を深く反省し、被害国に謝罪したもので、この精神は発揚に値する」と発言したと明らかにしています。この村山談話の踏襲を事実上迫ったのは、中国の国内世論に配慮するとともに、日本側を揺さぶる狙いもある。高市首相にとって

は耳にしたくない話だったと思われ、習氏の発言は、会談内容を公にする日本側のプリーフィングには盛り込まれませんでした」(同)

こうした点、政府関係者に見方を問うと、

「日中首脳会談については、目立った成果があったとは言い難い。本来なら、中国

による農水産物の輸入規制の件はどうなったのか」といった批判が国内で出てもおかしくありません」

しかし、そうした指摘はほぼ聞こえてこない。そこが現下の高市政権の際立ったところだと言うのだ。

「各社の世論調査で政権支持率が軒並み高い。首相は『祝儀相場や』と平静を装うものの、もはや『高市ブーム』と言うべき様相で、正直、外交成果を冷静に検証する空気ではないことに助けられています」(同)

支持率は、TBSの調査で驚異の82%を記録。2001年以降の歴代政権発足直後の数字としては、小泉内閣の88%に次いで2番目に高く、石破内閣の52%を大きく引き離している。

政治記者の話。

「SNSでは高市首相を応援する活動について、いわゆる『推し活』をもじって『サナ活』と呼ぶ動きも出ています。首相が愛用するボールペンやカバンの銘柄が割り出されて注文が殺到し、その現象がまたニュースで話題になるという異例の状況なのです」

ネット空間の特質

また、首相が愛用するバッグ「グレース デイライ トトート」(13万6400円)を扱う濱野皮革工藝の広報も嬉しい悲鳴を上げる。「SNSでの話題をきっかけに注目をいただいている影響だと思うのですが、20代と思われる方などこれまでより幅広い年齢層の女性からご注文をいただいております。1日で約1カ月分の生産量に相当するご注文を受けている状況が続き、10月31日時点では来年6月末出荷分までのご予約を承っております」

服飾史家の中野香織氏が語る。

高市首相が就任会見で手にしたのは三菱鉛筆の「ジェットストリーム多機能ペン4&1 MSXE5-11000(ライトピンク)」(1100円)と見られる。

同社の広報に尋ねると、「大切な場面でご使用いただいたようで、弊社内でも大変喜んでいきます」

「高市首相はバッグだけでなく、ジャケットやスーツ、ボールペンに至るまで日本製のものを愛用しています。国内産業を支援するという意志が一貫して見え、バッグは実際にとっても良い品なんです。皇室御用達のブランドでありながら、価格も決して高すぎない。海外ブランドで同等の品質なら40万円は下らないでしょう。実用的で、見栄を張らない選択に好感が持てます」

異論を差し挟めないほどの人気。愛用品を人々が買い求めるまでの狂騒——。ノンフィクション作家の石戸諭氏はこうした「高市

現象」について、次のように見ている。

「岸田文雄元首相(68)と石破前首相の2代にわたり、政府の物価高対策は十分な成果を上げられませんでした。30〜40代の現役世代や子育て世代には不満が蓄積し、自民党離れが進みました。その結果、国民民主党や参政党が支持を伸ばしたのです。こうした状況下で、積極財政路線を掲げる高市首相に期待が集まり、事実上の政権交代が起きたと見ることもできるでしょう」

選挙コンサルタントの大濱崎卓真氏もこう分析する。「高市首相の支持率が石破首相時代よりも格段に上昇した理由の一つに、保守層が参政党や日本保守党支持から自民党支持に回帰した可能性が挙げられます」

大濱崎氏の調査によると、石破内閣発足直後の支持率は自民党支持層で58%、参政党支持層で16%、日本保守党支持層になると4%にとどまっていた。

しかし、高市内閣発足後